

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年4月24日(2014.4.24)

【公表番号】特表2013-521952(P2013-521952A)

【公表日】平成25年6月13日(2013.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-030

【出願番号】特願2013-500243(P2013-500243)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/20 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/20

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月4日(2014.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

気道疾患を治療するシステムであって、

軸線を備えていて、気道インターフェース組織部位の通常の生理学的機能と適合性のある仕方で前記気道インターフェース組織部位に適合するような寸法形状を有するインプラント本体と、

前記インプラント本体内に設けられていて、前記部位に加えられる第 1 の引張り力と第 2 の引張り力との間で前記インプラント本体の現場調節を可能にするよう構成された調節要素とを有する、システム。

【請求項 2】

前記インプラント本体は、前記第 1 の引張り力と前記第 2 の引張り力との間における調節を可能にするラチェット機構体を有する、請求項 1 記載のシステム。

【請求項 3】

前記インプラント本体は、前記第 1 の引張り力と前記第 2 の引張り力との間における調節を可能にする流体収容チャンバを有する、請求項 1 記載のシステム。

【請求項 4】

前記インプラント本体は、引張り要素を受け入れるよう構成された軸方向通路を有する、請求項 1 記載のシステム。

【請求項 5】

前記インプラント本体は、前記第 1 の引張り力と前記第 2 の引張り力との間における調節を可能にするよう構成された修正可能なポリマーを有する、請求項 1 記載のシステム。

【請求項 6】

前記インプラント本体は、前記第 1 の引張り力と前記第 2 の引張り力との間における調節を可能にするよう構成された複数個の修正可能な軸方向要素を有する、請求項 1 記載のシステム。

【請求項 7】

気道疾患を治療するシステムであって、

軸線を備えていて、気道インターフェース組織部位の通常の生理学的機能と適合性のある仕方で前記気道インターフェース組織部位に適合するような寸法形状を有するインプラント本体と、

前記本体内に設けられていて、引張り要素を受け入れるよう構成された軸方向通路とを有する、システム。

【請求項 8】

前記引張り要素を前記軸方向通路中に導入するツールを更に有する、請求項 7 記載のシステム。